

教育課程研究特例校における特別の教育課程の実施状況について

宮代町立笠原小学校

【研究主題】

学びを楽しみ、進んでコミュニケーションをしようとする児童の育成
～聞くことを大切にしたい授業の工夫（英語科）～

<目指す児童像>

「進んでコミュニケーションしようとする児童」
～よく聞き、思考し、いきいきと表現し、人とかかわる児童～

☆令和元年度児童の意識調査（3，4，5，6年集計値）

	質問項目	そう思う	どちらとも 言えない	そう 思わない
1	英語はこれからの生活で必要だと思いますか。	87%	12%	1%
2	英語で聞いたり話したりできるようになりたいと思いますか。	83%	12%	5%
3	英語で読んだり書いたりできるようになりたいと思いますか。	94%	6%	0%
4	外国の方と英語でコミュニケーションをとりたいと思いますか。	88%	10%	2%

☆教師の評価

授業時数を中学年週1時間・高学年週2時間にしたことでの教師の指導力に係る成果
<ul style="list-style-type: none">・担任主導で、音声中心の授業展開をすることができた。・デジタル教材の活用を工夫する時間がとれた。・一人一授業（事前、検証授業含む）を行い、共通理解を図り、指導法の改善を行った。・目指す児童の具体の姿を明記することで、見取るべき学習場面を押さえ、共通理解を図り、ねらいにそった振り返りをさせることができるようになった。

授業時数を中学年週1時間・高学年週2時間にしたことでの児童の学びに関する成果
<ul style="list-style-type: none">・粘り強く聞こうとする意欲と態度、英語を音声で捉える感覚が身に付いた。・ねらいとめあてを自分で捉える力が身に付いた。・中～高学年では積極的にデジタル教材の活用に努め、児童の興味関心を高めることができた。・児童は英語音声で聞き取った大まかな内容を捉える力が付いてきた。

《令和元年度の研究授業》

① 令和元年6月13日 3年 How many ～？

◎授業内容

- ・ジェスチャーや数カードを多用し、ことばの意味を理解させる。
- ・漢字の画数を英語の数字で表現させる。国語の漢字の学習と英語を結び付ける。

② 令和元年7月8日 2年 What' s this?

◎授業内容

- ・果物や野菜の英単語にできるだけたくさんふれる。
- ・I like～. You like～. Who likes～?などの表現を活用し、自分だけでなく、クラスメイトについても関心を持たせる。



③ 令和元年9月12日 5年 We can 1 unit6

I want to go to Italy.

◎授業内容

- ・児童が英語を使うことを自分事としてとらえられるようにする。
- ・社会科の学習で学んだ国の名前を活用する。
- ・行きたい国を英語で言い、家の人をお願いチケットを書く活動を通して必要感を持たせる。



③ 令和元年11月8日（金）

1年 I like ～ .

◎授業内容

- ・Sit down ゲームでは、児童が春に行った遠足の話でFree talkを行った。好きな動物の名前が言えた児童から座らせた。
- ・Song では、聞こえた言葉を児童に尋ねた。スピードを変えて繰り返したり、手遊びを加えたりすることで、英語らしい音声とリズムを楽しませた。
- ・Main1「クラスリサーチ」では、図工で使う絵具調査を目的として必然性を持たせ、「Do you like 色？」の表現に親しんだ。
- ・Main2では、絵本の読み聞かせを聞き、英語の擬音語に親しんだ。擬音にあわせて動作化を行い、リズムを大切にしながら聞き、その後みんなで一緒に発音した。

4年 Let' s Try!1 Unit7 「What do you want?」

◎授業内容

- ・欲しいものを尋ねる設定をし、I want to～. の表現を使う目的意識を持たせる。
- ・I want to～だけでなく I like to～の表現も利用し、表現のはばを広げる。



6年 We can 2 Unit7 「My best memory」

◎授業内容

- ・卒業アルバムに思い出を英語で載せるページを設定し、必要感を持たせる。
- ・書いた文を繰り返しなぞらせたり、読ませたりすることで、発音と文章の一致や意味理解を目指す。
- ・自分たちの写真等を活用することで、主体的な活動ができるようにする。

成果と課題

【成果】

- ・ 担任主導、音声中心の授業展開
- ・ 粘り強く聞こうとする意欲や態度
- ・ 英語を音声言語として捉える感覚
- ・ ねらいやめあてを自分でとらえる力
- ・ デジタル教材の活用の工夫

22

【課題】

- ・ ことばをことばとして使っていくための学習内容、活動の精選
- ・ 興味関心が高い題材の開発
- ・ Listening→Reading→Writing
無理なく活動をつなげるには…

23